

受講生の声

10年前、世間では未知でもアカデミアで熱く議論されていた数々の問題が、10年後、今や誰もが知る社会問題となっていた。リサイクルの問題も、環境問題も。アカデミアの「先見の明」は実に確かだった。そして親になった今も仲間たちのアンテナは私を大きく刺激してくれる。まさに生涯にわたる学びの場を与えてもらったと思っている。

遠藤妙子(育児従事中 2期生)

1枚のちらしをきっかけに参加しました。受講生のときも修了生となつてからも、大事な出会いをずっといただいています。さらなる「アカデミアのつながり」の広がり期待しています。

北島砂織(国連機関 ネパール在住 3期生)

アカデミアは、仕事も年齢層もさまざま、多種多様な人達が自由に議論し、いろいろな考えが聞ける場所。私自身も、社会人になって学生時代とは考え方が変わって自分自身を発見することができました。アカデミアは、自己発見・再認識の場になるのではないのでしょうか。

鈴木勝(育林業 5期生)

仕事をしているうちに凝り固まったものの見方、生き方などをいったん壊して再構築する機会を与えてくれた場所。講師からはもちろん、受講生や運営委員との関わりの中で気づくことが多かったです。グループで作成した「たばこ」教材は大阪のコンテストで入賞！現在も教材の改良を加えながら活動中。

杉本伊知郎(会社員 6期生)

国際協力や地球環境などの諸問題、はたまた人間について、講義とワークや体験を通じてアカデミアならではの世界観が展開されます。世間ではマイナーなことがここではメジャーなこと。同じ時間を共有し、共に考える仲間に出会うために、是非、飛び込んでみてください。

志津安紀(市役所職員 8期生)

大人になったからこそ学べる環境を自ら作るのが大切な気がする。自分の意志で学ぶことほど楽しい事はない。世の中が見えてくる。すべてがつながっていることを感じられるようになる。アカデミアはそれを気づかせてくれた場所。

韓朱仙(NPOスタッフ 12期生)

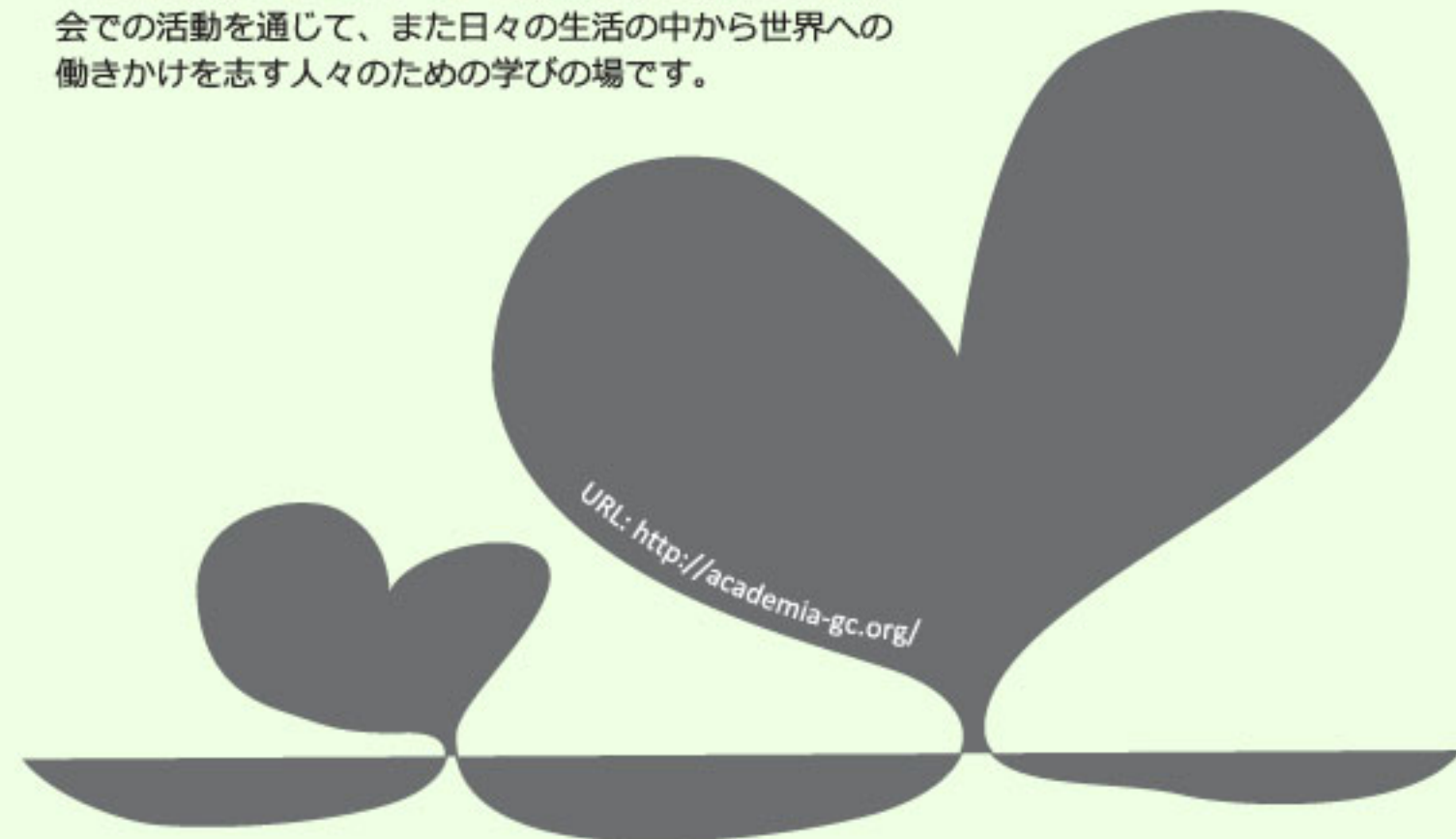
国際協力、環境問題…アカデミアに入るまで固いイメージで自分には遠い言葉であった。問題を解決するのは、システムや知識だけでない。結局は「人と人のつながり」だというシンプルだが人として大切なことを教えてくれた場だ。

李洋介(学生 14期生)



これからの 地球社会 あなたは どう 生きて いきますか？

「地球市民アカデミア」は、国際協力や国内外の地域社会での活動を通じて、また日々の生活の中から世界への働きかけを志す人々のための学びの場です。



2008年度 第15期地球市民アカデミア

企画・運営 第15期地球市民アカデミア運営委員会

〒150-0012 東京都渋谷区広尾4-2-24 JICA地球ひろば気付 地球市民アカデミア(21)宛

TEL: 03-6280-8967 FAX: 03-6280-8983

E-mail: admin@academia-gc.org

URL: http://academia-gc.org/

地球市民アカデミアは修了生が企画・運営しさまざまな団体の協力を得ながら広いネットワークの中ですすめられています

協力・後援団体

(学)アジア学院

アジア・アフリカ諸国からの研修生が食糧生産の基本、農村生活改善、よりよいコミュニティづくりを、生活体験を通して学んでいく農村指導者育成校です。

(社)協力隊を育てる会

民間の立場から青年海外協力隊事業への理解を深め、協力隊活動に対する支援の輪を広げることを目的に情報誌の発行や各地で国際理解セミナー等を行っています。

東京YWCA専門学校

半世紀以上にわたり、社会の中で自立できる人づくりを目指し、実践的な教育を提供しています。社会福祉科は、福祉分野でのパイオニアとして高い評価を得ています。

(特活)国際協力NGOセンター(JANIC)

地球的諸課題に取り組む市民組織NGOの活動支援を目的に、NGOに関する情報収集・提供、広報、調査研究、人材育成、国内外のNGOとのネットワークを進めています。

東京ボランティア・市民活動センター

都内のボランティアやNPOに関する情報提供や相談などを通じて、都民のボランティア・市民活動を支援しています。調査、研修、会議室貸し出し、活動助成なども行っています。

第15期生 募集要項

●開催期間

2008年5月～2009年3月
(全17回/合宿3回、公開報告会含む)

●募集対象

- ・国際協力やグローバルな問題に関心がある人
- ・地域社会や身近なところから何かを始めたい人
- ・原則として全回参加できる人
- ・18歳以上の人
- ・他の受講生と協力しながら受講できる人

●定員 35名 (先着順)

※定員に達しない場合、開催を中止することがあります

●参加費用 50,000円

(学生のみ分割払い可 応相談)
・登録費、受講料、資料代等が含まれます
・合宿費用は別途かかります

●会場 東京YWCA専門学校

(東京都千代田区神田駿河台1-8)

●募集締切 2008年4月30日(水) 必着

●申込方法

所定の用紙に必要事項(氏名、住所、電話番号、所属、志望動機)をご記入の上、下記までお送り下さい。E-mail、FAXでの申込みも可。

会場案内図(東京YWCA)



【お申し込み・お問い合わせ】 「第15期地球市民アカデミア」事務局

〒150-0012 東京都渋谷区広尾4-2-24 JICA地球ひろば気付 地球市民アカデミア(21)宛

TEL: 03-6280-8967 FAX: 03-6280-8983

E-mail: admin@academia-gc.org

URL: http://academia-gc.org/

1.オリエンテーション合宿

「地球に生きる私たち～共に生きるために～」

5月23日(金)夜～25日(日)

於：アジア学院(栃木・那須塩原)

講師：高見敏弘氏【アジア学院創設者・名譽学院長
・地球市民アカデミア校長】

講師：荒川朋子氏【アジア学院副校長】

学びの初めとして、アジア学院で農作業や動物の世話を体験します。研修生との交流、土・緑・いのちに触れる中で、共に生きることを考えます。一年間の学びはこの合宿から始まります。



2.「国際教育 ～社会・人間のあり方を問う～」

6月7日(土)

講師：山西優二氏【早稲田大学教授】

50年後、私たちはどのような社会を創り出せるのでしょうか？現在のグローバル化する社会の問題を見据え、国際協力活動、市民活動、ボランティア活動の本質とは何かを考えます。

3.「国際協力～援助の問題をさぐる～」

6月21日(土)

講師：北野収氏【日本大学准教授】

よりよい世界の実現を目指す国際協力。しかし、技術や方法ばかり先行している現在の援助で、本当に世界の問題は改善されるのでしょうか。見過ごされている国際協力の問題を考えます。

4.「メディア～発信する側の論理～」

7月5日(土)

講師：内藤陽介氏【郵便学者
・切手の博物館副館長】

切手が国家の名において発行され、全世界に流通する過程で、多くの人目に触れるメディアとなることもあります。メディアとは何か、普段目にする切手や郵便を通じて考えます。



5.「貧困～伝えられていない問題～」

7月19日(土)

講師：湯浅誠氏
【NPO法人自立生活支援センターもやい事務局長
・反貧困ネットワーク事務局長】

途上国だけでなく、今の日本でも話題となっている様々な形の貧困。「自己責任論」の中に隠されている問題を通じて、その根源を問うとともに、私たちに何ができるのかを考えます。

6.「地域づくり ～離島の町・海士(あま)から学ぶ～」

7月26日(土)

講師：山内道雄氏【島根県・海士町長】

迫り来る財政破綻前夜に生き残りを賭けて立ち上がった、離島海士町。その独創的な実践例を通し、今後日本社会が直面する問題に対して身近な「地域」からどう向き合っていくのかを考えます。



第15期地球市民アカデミア カリキュラム

* 合宿以外の受講日はいずれも土曜日13:30～17:00です

国内外を問わない貧困の広がり、地球環境問題、先が見えない社会情勢など、私たちを取り巻く状況は深刻化かつ複雑化しています。そのような世界の状況に対して、私たちは何ができるのでしょうか。「地球市民アカデミア」は、国際協力や国内外の地域社会での活動を通じて、また日々の生活の中から世界への働きかけを志す人々のための学びの場です。

17.公開報告会

3月

公開報告会は、あなたの得たものを実際に社会に発信し、共有するチャンスです。地球市民アカデミアの学びを通して考えたことや発見したことを、今度は自分から周りの人に伝えます。



16.プレゼンテーション合宿

2月7日(土)～8日(日)

この合宿では、約9ヶ月間にわたる学びや共働学習の成果をお互いに発表し合い、共有します。そして、地球市民としてのさらなるステップへつなげていきます。

8～15.共働学習

9月27日(土) 10月11日(土) 10月25日(土)
11月 8日(土) 11月29日(土) 12月13日(土)
1月10日(土) 1月24日(土)

各自の関心をもとにグループごとのテーマを設定し、共働作業を行います。グループ内での議論や関わり合いを通して、異なる背景や意見を持つ他者と協力しながら、イベントの企画、フィールドワークや教材作成など、自分たちで考えた活動を展開します。

7.秋合宿

「自分と向き合う、他者とつながる」

9月13日(土)～14日(日)

講師：青木将幸氏
【青木将幸ファシリテーター事務所】

前期講座で学んだことに、私たちはどう関わっていけばいいのでしょうか？他者との合意形成や共有の方法を学ぶ中で自己の関心事と向き合い、共働学習に向けてグループ作りを行います。

地球市民アカデミアとは

<地球市民アカデミアがめざすもの>

この講座では、将来国際分野や私たちの地域社会での活動を志す者が、現在の社会状況を正しく理解し、必要な専門知識やものの見方を学ぶと同時に、実際に国際協力や地域活動に携わる人々の経験に学び、活動への訪問などを通じて自ら選んだテーマを追究し、現実感のある学びを創り出します。そして、なぜ国際協力や地域活動が必要と考えるのか、どう関わりたいのか、何ができるのかを深く掘り下げながら、自分自身の価値観を問い直し、これからの社会

を創っていく上で大切な他者との協力関係の築き方を学んでいきます。

<地球市民として生きる>

地球市民アカデミアは困難な状況に置かれている人々を「援助」の対象としてみるのではなく、地球上に共に生きる者として関心を向け、共によりよく生きていくためにはどうするのかを考えていきます。世界への深い理解や認識と共感できる感性を大切にしながら、学問の域にとどまらない「地球市民」としての生き方を皆で考えていきます。

<参加型の学びのスタイル>

身近な問題から地球規模の課題の解決まで、私たちの持つ思いや理想を実際に形にしていけるために、知識やスキルを身にまとうだけでなく、それをメッセージや行動に変えていくことを大切に、一年を通じて参加型の学びを生み出していきます。特に後期の「共働学習」では、自分たちで課題を設定し、その解決に向けて、参加者同士でアプローチ方法を考えていきます。課題解決だけでなくその過程における他者理解やコミュニケーションも大切にしながら、参加者皆で学びの場をつくりま

みんなで作るオプション企画

地球市民アカデミアでは、これらの講座に限らずオプション企画として様々な活動やイベントを行う機会もあります。例年スタディツアーやフィールドワーク、自主イベントなどを行っています。受け身ではなく、自ら参画することを通じて、学びの場としてのアカデミアをぜひ最大限に活用してください。

